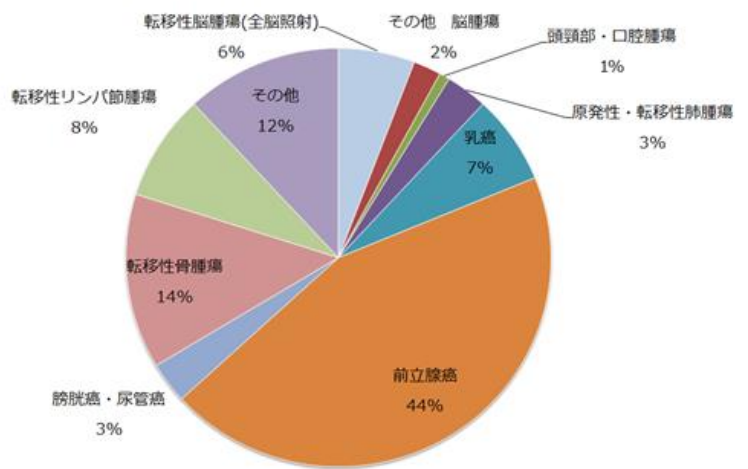
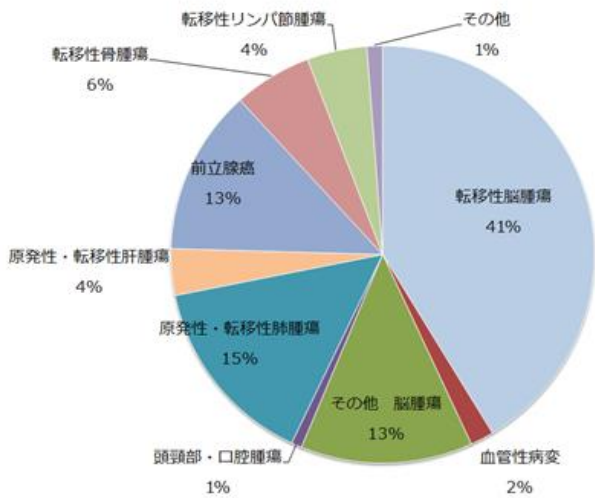


【当院の治療実績および特徴】（※集計期間：2018年2月～2021年6月）

治療件数は、サイバーナイフ 553 件、トモセラピー447 件となり、部位別の内訳は以下の通りです。



▲サイバーナイフ(定位放射線治療装置)

自在に動くロボットアームであらゆる方向から照射が可能のため、脳腫瘍の治療など、正常部へのダメージを限りなく低減できます。巡航ミサイルに使われている追尾技術(DSMAC-2)を応用し、リアルタイムの画像解析によって肺などの動く臓器に対して追尾照射ができます。

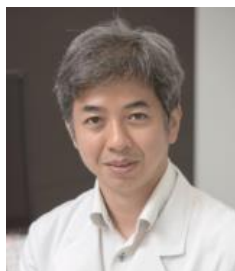


▲トモセラピー(強度変調放射線治療装置)

放射線治療装置と CT(コンピューター断層撮影装置)が一体になっていて、治療直前の状態を撮影し、腫瘍や周辺臓器の位置を確認できるため、より精密な治療が可能です。例えば前立腺癌には、照射ビームの強度を変えることで、腫瘍には高線量、周囲の膀胱や直腸などの正常組織には線量を減らすといった治療が可能です。



当院医師よりメッセージ



▶宇都宮セントラルクリニック 放射線治療部長 山本健太郎医師

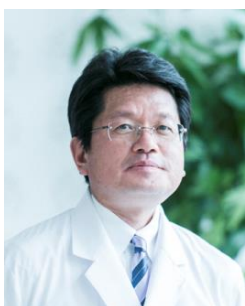
当治療センターは今年で4年目を迎えますが、この度1,000件という治療件数を達成できたことを大変嬉しく思います。これもひとえに近隣の医療機関の皆様のご理解・ご支援の賜物と感謝しております。今後もご依頼頂く先生方や地域の皆様のご期待に応えるべく尽力して参りますので、引き続きよろしくお願いたします。



▶東京大学大学院医学系研究科 総合放射線腫瘍学講座 特任教授

中川恵一医師

当センター開設時より東大病院から常勤医を派遣しており、私の家内が栃木県出身ということもあり、「とちぎ愛」を持って毎週自身も診療させていただいております。栃木県は隣県の群馬県・茨城県と比して、がん死亡率が高いことから、県内に世界最高レベルの高精度放射線治療施設を作りたいという夢が、関係各位のご協力の下、実現しつつあり、今回一里塚の達成ができましたことを、この場を借りて御礼申し上げます。



▶宇都宮セントラルクリニック 理事/放射線科専門医 佐藤俊彦医師

2016年に免疫チェックポイント阻害剤と放射線治療のセミナーをワシントンで聴いて、これからの放射線治療は大きく変わると実感し、2018年に当センターを開設しました。関係各位のご協力の下、1,000件の治療実績を上げることができたことを御礼申し上げますとともに、この分野の研究がますます進み、早期がんは言わずもがな、末期がんの患者さんの希望につながる治療センターを目指して参ります。

<リリースに関するお問合せ先>

医療法人 DIC 宇都宮セントラルクリニック

広報担当：大野、大貫

TEL：028-657-5215 FAX：028-657-5216 E-mail：pr@ucc.or.jp